

Japan Network Infrastructure Strategies (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

通信事業者、企業ユーザー共に、ネットワークの大規模化、複雑化によって、信頼性、セキュリティ、管理の容易性、柔軟性といった面で高いレベルが求められるようになってきました。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Network Infrastructure Strategies (Japanese Version)」では、国内ネットワーク機器市場の動向を詳細に分析し、各製品分野について、キートrend、競合分析、市場動向と将来展望を提供します。2022 年は、企業ネットワークの運用管理や消費モデルとして注目されているクラウド管理型ネットワークやサブスクリプション型ネットワークソリューション市場に関する分析に取り組んでまいります。

Markets and Subjects Analyzed

- ルーター
- イーサネットスイッチ
- 無線 LAN
- 産業用ネットワーク機器
- ネットワーク仮想化/自動化
- ワイヤレスインフラ

Core Research

- 国内企業向けネットワーク機器市場 予測
- 国内ネットワーク機器市場 シェア
- 国内 5G 向け 向けネットワークインフラ市場 予測
- 国内データセンターネットワーク機器市場 予測
- 国内ネットワーク機器市場 企業ユーザー調査
- 国内産業用ネットワーク機器市場 予測
- 国内ネットワーク仮想化/自動化市場 予測
- 国内ネットワーク仮想化/自動化市場 シェア
- IDC FutureScape: Worldwide Future of Connectedness 2022 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Network Infrastructure Strategies \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

1. 企業ネットワークインフラが克服すべき課題は何か？
2. 通信事業者は 5G 向けネットワークインフラをどのように展開していくのか？
3. 新たな企業ネットワークの運用管理や消費モデルは、市場の主流になり得るのか？
4. 企業ユーザーが求めるネットワークインフラとは何か？またどのような視点からネットワーク機器を選択しているのか？
5. 成熟化が進む市場でネットワーク機器ベンダーが勝ち残るためのポイントは何か？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います (アルファベット順、50 音順)。

APRESIA Systems、NEC、アライドテレシス、アラクスネットワークス、アリスタネットワークス、ヴィエムウェア、シスコシステムズ、ジュニパーネットワークス、日本ヒューレット・パッカード、ノキア、フォーティネット、富士通、ヤマハ、その他